

猪苗代大会をトコトン楽しむ

世界選手権 観戦ガイド

フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会。世界三十三カ国から約六百人の選手関係者が集まり、世界の頂点を決める大会が、三月二日から八日までの七日間、猪苗代町・磐梯町を会場に開催されます。

フリースタイルスキーの世界選手権が国内で開催されるのは、一九九七年の長野県飯綱高原以来二度目。国内だけでなく世界中から多くの選手や観客を集めるこの大会は、本町が並々ならぬ努力の末にやっと誘致にこぎつけた大会です。

これだけの規模の世界大会が国内で開催されることは、数十年に一度。猪苗代では二度と開催されないかも知れません。

スタッフ・ボランティア・観戦者と関わり方は様々ですが、このビッグイベントと一緒に盛り上げましょう。



1997年 長野県飯綱高原での世界選手権大会の様子 (写真提供 長野市)

大会のあらまし

世界選手権の歴史

フリースタイルスキー世界選手権の第一回大会が開催されたのは一九八六年、モーグルの聖地とも呼ばれているフランスのティエーニュ。当時のフリースタイルスキーは、モーグル、エアリアル、バレー(現アクロ)という三種目のみでした。

一九九年、バレーが正式種目ではなくなり、入れ替わるようにデュアルモーグルが登場。二〇〇五年からはスキークロス、ハーフパイプが正式種目となりました(スキークロスは来年のバンクーバー五輪から五輪正式種目に採用)。

この五種目が今回の猪苗代大会で開催されます。

W杯との違いは?

W杯は毎年世界中を転戦しながら十数戦を戦い、ポイントを集計してそのシーズンの

チャンピオンを決めます。

日本でもそのうちの数戦が行われ、本町では、ほぼ毎年リステルスキーファンタジアを会場にモーグルが、〇七年には猪苗代スキー場でスキークロスが開催されてきました。

世界選手権大会は、国際スキー連盟(以下、FIS)が主催する大会の中では、最大の大会で、五輪の次に権威のある大会といわれています。二年に一度の開催で、参加国の代表になれた選手だけが出場できる、一発勝負の世界王者決定戦。フリースタイルスキーの全種目が揃う唯一の大会です。

特にハーフパイプのように五輪の正式種目となっていない競技には、世界選手権が最高峰の大会になります。

ハーフパイプは、〇五年のフィンランド・ルカ大会では始まったばかりで選手の参加が少なく、〇七年のイタリア・マドンナ大会は雪不足で中止。今大会が事実上の世界選手権

初代王者決定戦といっても過言ではありません。



事実上の初代王者決定戦ハーフパイプ

全種目が集結するため、その規模はとて大きく、五輪の前年に開催されることから、五輪の前哨戦、プレ大会としても世界中の関係者から注目されています。

国内のW杯は、毎年世界で十数戦開催されるうちの数戦ですが、世界選手権は二年に一度、世界で一方所だけでの開催。世界選手権がW杯より格上の大会とされるのは当然のことといえるでしょう。

大会開催までの道

もう一方で、開催地に与える様々な効果も見逃すことはできません。大会終了後も世界選手権の

開催地であるというブランドは消えることはないでしょう。大会を観戦した子どもたちが興味を持ち、次世代のスキー選手に育つことも考えられます。世界中から集まる選手や関係者、観客や報道陣などは、地元へ経済効果をもたらします。だからこそ本町はこの大会の誘致に全力で乗り出しました。

本町が世界選手権の誘致に立候補したのは〇三年の十二月。(財)全日本スキー連盟、福島県スキー連盟、各スキー場、福島県、町などで大会の誘致委員会を設置して誘致活動を開始しました。

競争相手はアメリカのベイ。一進一退の攻防が続きましたが、大会開催にける本町の熱意が伝わり、〇四年六月、アメリカ・マイアミで開催されたFISの総会の席で猪苗代開催が正式に決定しました。

日本での開催は一九九七年の長野県飯綱高原以来、実に十二年振りのことでした。

そして大会本番へ

本町には、世界選手権組織委員会準備室が設置され、準備とPRに励んできました。

ボランティアスタッフも昨年のプレ大会などで経験を積み、準備をしてくれました。「日本での開催すら数十年に一度、その大会が地元で」今後のことを考えると、このような大きな大会を開催できる機会は二度と無いかもしれません。

だからこそこの大会を成功させるためには、スタッフやボランティアだけでなく、町を挙げての協力が不可欠です。今回の世界選手権が単なる成功で終わるか、大成功で終わるかは、わたしたち町民一人一人の「おもてなしの心」にかかっています。

大会について知ろう

町外から来たお客さんが、道や大会などについて何かを訪ねたいとき、少しでも教えてあげることができれば……ちよっとした会話が観光客のリピーターを増やすかもしれません。

会場へ応援に行こう

会場に詰めかける大観衆や声援は、大会の盛り上がりには欠かせません。そしてなにより選手の力になります。二度とないかもしれない機会です。ぜひ会場に足を運びましょう。

前売りチケット発売中!

スキークロス (3/2)
エアリアル (3/3・4)
ハーフパイプ (3/5)
以上3競技 各 **2,500円**

モーグル (3/7)
デュアルモーグル (3/8)
以上2競技 各 **3,500円**

◇町内販売箇所◇

- ・大会組織委員会
- ・福島県スキー連盟
- ・猪苗代スキー場中央
- ・リステルスキーファンタジア
- ・(社) 猪苗代観光協会
- ・(株) まちづくり猪苗代
- ・猪苗代町役場 (会計室)
- ・猪苗代町総合体育館
- ・いわはし館
- ・ファミリーマート
- ・ローソン
- ・猪苗代町および磐梯町内のセブンイレブン

臨時駐車場のご案内

エアリアル・モーグル・デュアルモーグル (リステルスキーファンタジア) については「猪苗代町総合運動公園」に、スキークロス (猪苗代スキー場中央) については「ミネロ駐車場」にそれぞれ臨時駐車場を設けます。

臨時駐車場から競技会場へは、無料シャトルバスで送迎します。

直接会場までおいでになっても駐車スペースはありませんので、くれぐれもご注意ください。

Moguls

モーグル
デュアルモーグル



ターン技術が勝敗を大きく左右する

08シーズンは上村愛子選手がW杯で種目別総合優勝を果たし、さらに注目が集まっています。

モーグルといえば、華麗なエアも見せ場ですが、08シーズンからの採点基準はターン重視 (点数の50%がターン点) となっています。世界一難しいといわれるリステルのコースはターンの技術が勝敗を大きく左右します。

モーグル界のスーパースター、ヤンネ・ラハテラコーチの指導の下、ターン技術も確実に成長している日本代表チームの活躍が大いに期待されます。

選手たちも「観客の声援が力を与えてくれる」と話していたので、ぜひ会場に足を運んで応援しましょう。

この選手に注目



いとう
伊藤みき選手

常に笑顔でいることが印象的な彼女。練習熱心で、成長著しい。上村選手と並んで表彰台に立つ日も近い

Halfpipe

ハーフパイプ



スノーボード以上に多彩な技に注目

ハーフパイプという、すでに五輪種目となっているスノーボードを思い浮かべる人も多いでしょうが、実はエアのスケール、迫力共にスキーのほうが凄いです。

観戦エリアもコースのすぐそばに設置されており、飛び出してくる選手を目の前で見られるなど迫力満点。トリッキーなエアを披露して、またパイプの底へと滑っていく様は、まるでイルカショー。

1度の演技で飛ぶエアは4~5回で、その構成にも選手のセンスが見え隠れします。

この競技だけ大型ビジョンが設置されていないのは、どこから見ても楽しめることの裏返し。

ぜひ会場のアルツ磐梯で観戦してください。

この選手に注目



はたなか
畑中みゆき選手

今シーズンのW杯ハーフパイプで日本人初となる表彰台 (2位) と好調。世界選手権でも金メダルを目指す

Aerials

エアリアル



数秒間の跳躍にすべてをかける鳥人

キッカーと呼ばれる大型のジャンプ台から空高く飛びあがり、高度な回転技を繰り出しながら着地するまでの点数を競う競技。

どこで優劣をつけているか分かりにくいですが、エア点20% (ジャンプの高さ、距離など)・フォーム点50% (姿勢、演技の完成度)・ランディング点30% (着地) の3項目で採点しています。

トップ選手が繰り出す世界最高難度の技は、なんと3回転5回捻り。この競技に元体操選手が多いのもうなずけます。

トレーニングの末に身につけた技は、着地までの数秒間に凝縮されます。その1回の跳躍に賭ける選手の思いを想像しながら観戦してみてください。

この選手に注目



たばらなおや
田原直哉選手

猪苗代町在住の選手。昨年NHKの番組で特集された事もあり、知名度もW杯での成績も上昇中の注目株

Ski Cross

スキークロス



コーナーワークや大ジャンプに期待

来年のバンクーバー五輪への出場を目指してスキークロスへ転向する選手が増えており、競技のレベルが以前より飛躍的に上がりました。

選手が一斉に突っ込むコーナーや、20m以上の大ジャンプを見せるキッカーなどが注目ポイント。コースのそばを歩いて近くまで行くことができます。

今大会ではゴール付近に300インチの大型ビジョンを設置して、コース内の選手の動きを放映するので、この大型ビジョンの前も絶好のポイントとなります。

予選はコース内のコーナーやキッカーのそばで、決勝はゴール付近でと場所を変えて観戦するのもオススメです。

この選手に注目



たきざわひろあき
瀧澤宏臣選手

山形県米沢市出身で小さい頃から猪苗代でスキーをしていた。07W杯でも優勝しており、優勝の期待大

観戦のポイント



ひろのぶ
小檜山 裕展
組織委員会事務局の報道担当。この仕事に就いたことで色々な世界観が変わったと語る37才

こんにちは、世界選手権組織委員会事務局の小檜山です。昨年の四月に組織委員会事務局に異動となり、県庁にいては絶対に味わうことの出来ない経験をしているなどつくづく感じています。このページでは、わたしが一年で知ることができた各種目の面白さ、見どころなどを地元猪苗代の皆さんにできるだけ分かりやすく紹介します。FISが主催する大会の中で最高峰の大会をこんなに近くで観戦できるまたとないチャンスです。思う存分楽しみましょう。



長谷川朱子さん



渡部善和さん

オープニングで演奏披露

長瀬小学校マーチング部

オープニングに参加して演奏を披露する長瀬小学校マーチング部。この日の練習では、「世界各国の人たちがみんなの演奏を見て、聞いています。選手の人たちを励ませるような演奏をしましょう」と顧問の渡邊志乃先生が子どもたちを励ましていました。

バンドマスターの渡部善和さん(6年)は、「世界各国から参加した選手の皆さんに一人でも多く感動してもらえるような演奏をしたい」、副バンドマスターの長谷川朱子さん(6年)は「ケガをしないように自分のベストを尽くしてほしい」と、それぞれ選手への思いを話してくれました。



体育館で練習をする児童たち。吐く息が白いほど寒い中で練習を頑張ってくれています。本番ではきっと見事な演奏を見せてくれることでしょう。



ぜひ会場で応援を

世界選手権組織委員会事務局

はた しんしち 畠 信七 事務総長

いよいよ大会まで1ヶ月を切り、事務局職員も最後の追い込みに頑張っているところです。大会期間中は、県や町の職員、ボランティアなど延べ7,400人にお手伝いをしていただくこととなりますが、皆さんとのコミュニケーションをしっかりとって、円滑な大会運営を行うのが事務局の役目だと考えております。

この大会を立派に成功させることはもちろんですが、福島県や会津地域、猪苗代町の素晴らしさを良く知っていただくためのきっかけとして役立てられる

よう頑張りたいと思います。モーグルの上村愛子選手がW杯で優勝するなど、日本人選手の調子も上がってきています。皆さんの声援が選手の力になり、猪苗代でもきっと活躍してくれると思いますので、応援よろしくをお願いします。世界選手権が地元で開催されるというチャンスは、2度と来ないと言っても過言ではありません。せっかくのチャンスですので、皆さんも何か一つ心に残るものを探しに会場に足を運んでください。



「選手の皆さん頑張れー」商工会女性部の皆さん

おもてなしの心で

猪苗代町 じん 神 トシ子 部長
商工会女性部

女性部では、「おもてなしの心」をもって3月2日の開会より8日まで、心のこもった豚汁を振る舞います。一人でも多くのスキーファンの皆さんに温かい豚汁を食べていただき、応援で会場を盛り上げていただきたいと思います。

町内の皆さん、また遠くからいらっしゃるスキーファンの皆さん、会場にお越しの際はぜひ女性部のテントに立ち寄ってください。

商工会女性部一同、心よりお待ちいたしております。



安全安心でおもてなし

はた しんしち 畠 信七 署長
猪苗代警察署

われわれ警察にできる「おもてなしの心」は、来場する人が安全、安心して大会を楽しめるようにすることです。全署を挙げて、スムーズな交通誘導と会場での事故防止に取り組みます。

観客の皆さんはもとより、選手、役員まで大会に関わるすべての人が「大会を楽しみ、事故に会わずに家まで帰る」ことに全力で協力したいと思います。



オープニングに登場

スキマスイッチ

オープニングにスペシャルメインゲストとして登場、ミニLiveで大会を盛り上げてくれるスキマスイッチのお二人(左 Vo 大橋卓弥さん、右 鍵盤 常田真太郎さん)。

「以前一緒にW杯を見に行ったことがあります。やっぱり生で見ると臨場感が違いますので、僕たちも楽しみにしています。ぜひ現地でお会いしましょう！」

会場で会いましょう

えばな としかず 江花 俊和 会長
猪苗代サポーターズクラブ



いよいよ大会まで数日となりました。世界33カ国から600人以上の選手役員や大会関係者、そして国内はもちろん世界中から報道陣や観客がわたしたちの町にやってきます。磐梯山と猪苗代湖の美しい景観を持つわたしたちの猪苗代町を世界の人々に知ってもらいたい機会です。

わたしたちサポーターズクラブ(以下SC)は、猪苗代大会を必ず成功させようという思いで集まり、一昨年の12月に設立しました。昨年はプレ大会と位置づけたW杯でのボランティア活動やイベントでのPR活動などを実施してきました。いよいよ本番を迎えることとなった今、わたしたちSCは猪苗代に来て

くださったすべての人に喜んでいただけるよう「おもてなしの心」で大会を成功させたいと決意を新たにしているところです。大会に関わる多くの人や町民の皆さんと力を合わせ、猪苗代町はいい町だった、素晴らしい大会だったと感動を持ち帰っていただける大会になるよう願っています。

そのためには町民一人一人が暖かいおもてなしの心で迎えるとともに、できるだけ多くの方が会場へ足を運んで応援することが重要だと思います。二度と来ることがないであろうこの猪苗代開催、わたしたちSCは悔いのないよう精一杯頑張りますので町民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



選手へのプレゼントになる折り鶴ならぬ折り白鳥を折る会員の皆さん

わたしたちも応援